

(2022. 4. 1)

令和4年度外国人留学生履修プログラム 2022 International Students' Study Program

目 的

上越教育大学外国人留学生が日本の教育を理解し深めるとともに日本語能力の向上を目的としています。

履修の手引き

○外国人留学生履修プログラム

- (1) このプログラムは、外国人留学生（以下、留学生という）の特別聴講学生・研究生が対象です。留学生の特別聴講学生・研究生は、必修科目を受講しなければなりません。ただし、留学生の大学院生も、希望する場合は受講することができます。
- (2) 研究生で単位取得を希望する場合は、併せて科目等履修生として入学しなければなりません。

○履修上の注意事項

- (1) 「日本語・日本事情」、「国際交流セミナー」は、初めて上越教育大学に入学した留学生を対象とする科目であり、特に日本での滞在期間がまだ短い留学生（大学院生も含む）は、受講してください。
- (2) 日本語補講については、授業担当者が、本学の正規授業に準じて試験及び成績評価を行います。よって、正規学生と同様の内容で、上越教育大学日本語補講成績証明書を発行します。ただし、単位を取得することはできません。
- (3) 授業科目一覧内の授業科目名に記載されている※1、※2は日本語補講科目であることを、【必】は必修科目であることを示しています。（※1 上級、※2 初級）

○授業時間

授業時間は、原則として月曜日から金曜日までの各5時限で実施します。授業の開始及び終了時刻は、次のとおりです。

時 限	授業開始・終了時刻
第1時限	8時40分 ～ 10時10分
第2時限	10時20分 ～ 11時50分
第3時限	13時00分 ～ 14時30分
第4時限	14時40分 ～ 16時10分
第5時限	16時20分 ～ 17時50分

○ICカードリーダーによる出席確認

教室に設置されたICカードリーダー、またはモバイル型ICカードリーダーに学生証をかざすことで出席を確認する授業があります。ICカードリーダーによる出席確認を行う授業については、授業担当教員から連絡します。

○試験、成績評価

(1) 定期試験

受講を許可された授業科目については、学期末又は学年末等に試験を行います。

出席時数が単位取得に必要な授業時数の3分の2に達しない者は、原則として受験資格を失います。具体的な試験の方法は、授業担当教員が定める方法によります。

(2) 成績評価

成績評価は、授業担当教員が定期試験の結果及び受講状況等を総合して行います。
成績評価の基準は、次のとおりです。

評価	評価基準	摘要
S	100点 ~ 90点	合格
A	89点 ~ 80点	合格
B	79点 ~ 70点	合格
C	69点 ~ 60点	合格
D	59点 以下	不合格とし、単位を与えない。

授業科目一覧

○授業概要は、シラバスを参照してください。

<https://www.juen.ac.jp/070graduate/010syllabus.html>

○単位欄に示す記号は、次のとおりです。また、記号のあとの数字は単位数です。

L：講義 S：演習 P：実験・実習・実技

前期（4月～9月）

授業科目名	単位(前・後) 曜日時限	授業担当者	受講対象者
日本語文献講読A ※1, 【必】	(前期)・月・1	太田	特別聴講学生・ 研究生
日本語レポート作成A ※1, 【必】	(前期)・月・2	太田	
コミュニケーション英語C I	P 1 (前期)・月・2	エルダトン	
韓国事情	S 2 (前期)・月・3	釜田	
デザインワーク II	P 2 (前期)・月・3,4	安部	
教育課程論(カリキュラムマネジメントを含む。)	L 2 (前期)・月・4	野澤	
スラブ文化事情	L1S1 (前期)・月・4	郷堀	
コンピュータ・プログラミング入門	S 2 (前期)・火・1	高野	
日本語研究発表A ※1, 【必】	(前期)・火・1	原田	
コミュニケーション英語A I	P 1 (前期)・火・2	ブラウン	
日本画表現	S 2 (前期)・火・4	洞谷	
製図法	L 2 (前期)・火・4	東原	
人と生活	L 2 (前期)・水・1	家庭分野関係全教員	
基礎日本語(会話) A ※2, 【必】	(前期)・水・1	太田	
基礎日本語(読解作文) A ※2, 【必】	(前期)・水・2	三好	
学校・教師の歴史と文化	L 2 (前期)・水・2	安藤, 高橋知	
食と栄養	S 2 (前期)・木・1	野口	
特別活動論	L1S1 (前期)・木・2	高橋知	
英語コミュニケーション演習(異文化理解を通じたリーディング)	S 2 (前期)・木・3	ブラウン	
中国語・中国事情	S 2 (前期)・木・4	野澤	
国文学演習B	S 2 (前期)・木・4	小埜	
ユーラシア史認識論	L 2 (前期)・木・4	下里	
日本語・日本事情 【必】	S 2 (前期)・木・4	田島	

授業科目名	単位(前・後) 曜日時限	授業担当者	受講対象者
キャリア教育基礎演習	S 2 (前期) ・木・4	山田	特別聴講学生・ 研究生
木材手工具加工法	S 2 (前期) ・木・5	東原	
中等美術科指導法 (基礎論)	L 2 (前期) ・金・2	五十嵐史	
身体表現の基礎	S 2 (前期) ・金・2 一部集中	榊原 [木山]	
食物学 I	L 2 (前期) ・金・3	光永	
図画工作	S 2 (前期) ・金・3	洞谷 他	
日本語・日本文化研究セミナーA【必】	S 2 (前期) ・不定期	受入教員	特別聴講学生
日本文化演習	S 2 (前期) ・火・3	浅倉	研究生※特別聴講 学生も聴講可能ですが、 単位の取得はできません。
日本の歴史と文化	L 2 (前期) ・木・1	浅倉	

後期 (10月～3月)

授業科目名	単位 (前・後) 曜日時限	授業担当者	受講対象者
キャリア教育論 (前半または後半) ※開始時期は授業担当者を確認 ※オンデマンド授業の可能性有り。 その場合、海外からの受講も可能。	L 1 (後期) ・月・1	山田智	特別聴講学生・ 研究生
日本語文献講読B ※1, 【必】	(後期) ・月・1	太田	
日本語レポート作成B ※1, 【必】	(後期) ・月・2	太田	
子どもの教育・保育概論	L 2 (後期) ・月・2	杉浦	
日本史研究A	L 2 (後期) ・月・3	浅倉	
木材機械加工法	S 2 (後期) ・月・4	東原	
書の表現と文化	L1S1 (後期) ・月・4	押木	
経済学概説	L 2 (後期) ・月・4	吉田	
日本語研究発表B ※1, 【必】	(後期) ・火・1	原田	
学校教育相談	L 2 (後期) ・火・2	稲垣	
法律学概説	L 2 (後期) ・火・2	小島	
中等保健体育科指導法 (課程論)	L 2 (後期) ・火・3	周東, 池川	
総合・生活	L 2 (後期) ・火・4	松井 他	
国文学講読B	L 2 (後期) ・火・4	小埜	
中等保健体育科指導法 (授業論)	L 2 (後期) ・火・4	周東, 松浦	
現代社会と学校	L 2 (後期) ・火・4	辻村	
法律学文献講読	L 2 (後期) ・火・5	小島	
日本国憲法	L 2 (後期) ・水・1	小島	
基礎日本語 (会話) B ※2, 【必】	(後期) ・水・1	太田	
基礎日本語 (読解作文) B ※2, 【必】	(後期) ・水・2	三好	
ロシア語コミュニケーション	S 2 (後期) ・木・1	下里	
英語コミュニケーション演習 (会話の原理)	S 2 (後期) ・木・2	ブラウン	
世界史研究入門	L 2 (後期) ・木・3	下里	
社会認識手法論	L 2 (後期) ・木・3	小島, 吉田, 塚田	

授業科目名	単位（前・後）曜日時限	授業担当者	受講対象者
デザインワークⅠ	S 2（後期）・木・3	安部	特別聴講学生・ 研究生
彫刻表現Ⅱ	P 2（後期）・木・3,4	松尾	
国際交流セミナー【必】	S 2（後期）・木・4	田島	
彫刻表現Ⅰ	S 2（後期）・木・5	松尾	
フランス教育文化事情	S 2（後期）・木・5	大前	
中等保健体育科指導法（教材論）	L 2（後期）・金・1	土田	
教育社会学	L 2（後期）・金・3	堀	
日本語・日本文化研究セミナーB【必】	S 2（後期）・不定期	受入教員	特別聴講学生
教科内容構成特論「社会」	L 2（後期）・水・2	下里	研究生※特別聴講 学生も聴講可能ですが、 単位の取得はできません。
世界史特論	L 2（後期）・木・4	下里	

※1：日本語補講。受講対象者は、日本語能力試験N2以上，J.T E S T（A-Cレベル）C級以上，
日本留学試験（日本語）270点以上のいずれかを持っている者とする。

※2：日本語補講。受講対象者は日本語初級者とする。

【必】：必修科目。

○日本語・日本文化研究セミナーの授業概要

日本語・日本文化研究セミナーA	修了レポートの作成 指導教員のもとで各自日本に関する 研究課題を立て、修了レポートを作 成、発表を行う。	前期	不定期
日本語・日本文化研究セミナーB		後期	

○日本語補講の授業概要

授業科目名	授業概要	学期	曜日	時限
日本語文献講読A	文献のまとめ方 資料の収集と整理の方法を行う。	前期	月	1
日本語文献講読B		後期	月	1
日本語レポート作成A	レポート作成の方法 大学の授業のレポート課題や修了レポ ートの作成のための基礎を行う。	前期	月	2
日本語レポート作成B		後期	月	2
日本語研究発表A	プレゼンテーションの方法 大学の授業等で必要なスピーチや発表 のための基礎を行う。	前期	火	1
日本語研究発表B		後期	火	1
基礎日本語（会話）A	基本的な日本語による「話す」力と「聞 く」力を高める。	前期	水	1
基礎日本語（会話）B		後期	水	1
基礎日本語（読解）A	基本的な日本語の文章を「読む」力をつ ける。	前期	水	2
基礎日本語（読解）B		後期	水	2
基礎日本語（作文）A	基本的な日本語の文章を「書く」力をつ ける。	前期	水	2
基礎日本語（作文）B		後期	水	2
実用日本語検定対策講座	実用日本語検定の対策，試験準備講義	集中 講義	不定期	